

## 「閑雅な食慾」群読「コンテスト」

萩原朔太郎作「閑雅な食慾」の群読シナリオを作り、発表する。

【目的】みんながそれぞれ読み取った「閑雅な食慾」の世界を群読で上手に表現する。

【目標】みんなが解釈と表現が一致した群読を作り上げる。

### 【授業の流れ】

- 「閑雅な食慾」を現代語で書き換える（ノート課題）。
- 「閑雅な食慾」の群読シナリオをグループで作成する。
- 群読練習（「あめ」も含む）・中間発表
- コンテスト

### 【詳細】

詩はたくさんの言葉が省略されている。その言葉を補つたり、今では古くなつた言葉を現代の言葉に置き換えたり、難解な言葉をわかりやすい言葉に代えたりして、「閑雅な食慾」の現代語解釈文を作成する。

「わかりやすさ」の対象として、「中学校1年生がわかる」表現を目指す。

『フォーマット』各行（1～11）ごとに改行を入れて記す。行頭に行番号を記す。題名と作者名を1行目に記す。その他はいつもと同じ。

【詳細】  
各班に配布された用紙に「閑雅な食慾」の群読シナリオを記す。書き直す必要もあるので、鉛筆で書いてかまわない。ただし、コピーして配布するので、濃く書くこと。

### 『フォーマット』

- ・言葉の繰り返しはOKだが、省略はNG。
- ・いろんな技法を自由に入れてよいが、**「追いかけ」は必ず1カ所以上入れること。**
- ・「追いかけ」を入れた部分にはその解釈と技法の関連の説明をしてもらつ。（シナリオ評価のポイント！）

### 【詳細】

「あめ」（規定演技）と「閑雅な食慾」（自由演技）の群読を発表する。

### 『評価のポイント』

- ・声の調和、大きさ、グループの間合い。
- ・技法を正確に演技できているか。（規定演技）
- ・シナリオと解釈がマッチしているか。（自由演技）